

# 狛江産農産物直売

〔日時〕12月25日(木)午前9時から  
(なくなり次第終了)  
〔会場〕市役所前市民ひろば



狛江市民まつりでの産地直売

狛江市都市農政推進協議会では、狛江産農産物をより多くの方々に知っていただくために、狛江産の野菜などの直売を行います。

なお、買い物にはごみの減量や省資源のため、手提げ袋等をお持ちください。

〔問い合わせ〕地域活性化課 地域振興係

## 平成20年度技能・農業功労者を表彰

平成20年度狛江市技能・農業功労者表彰式を、11月23日(例)に市役所で行いました。今年度は、次の方々が表彰されました。



- 技能功労者
  - 〔対象〕永年市内で技能の研さんに励み、ほかの技能者の模範と認められる方  
(写真右から)
  - ▽名古屋正男さん(中和泉二丁目・木工技能)
  - ▽丸山久幸さん(中和泉五丁目・整髪技能)
  - ▽川合弘さん(東野川四丁目・建築技能)
- 農業功労者
  - 〔対象〕永年市内で農業に従事され、ほかの模範と認められる方
  - ▽高橋登さん(中和泉五丁目)
  - 〔問い合わせ〕政策室秘書担当

## 平成21年度市職員募集

平成21年度中における職員の欠員補充のため採用資格試験を実施します。採用予定日は平成21年4月1日です。

〔職種・募集人員〕▽一般事務・一般技術(土木・電気) 若干

〔実施要項・申込書配布期間〕

名▽看護師 1人

〔受験資格〕別表1のとおり ※国籍は問いませんが、地方公務員法第16条(欠格条項)に該当する方は受験できません。

別表1

職種	学歴区分	年齢要件	受験資格
一般事務	大学	昭和24年4月2日以降生まれの方	大学を卒業した方で、民間企業等における職務経験が5年以上あり、採用後その経験を生かせる方
		昭和24年4月2日以降生まれの方	大学を卒業した方で、土木施工管理技士(1級または2級)または測量士および測量士補の資格を有する方
一般技術(土木)	大学	昭和24年4月2日以降生まれの方	土木関係の学部・学科を履修した方で、平成21年3月卒業見込みの方
		昭和61年4月2日以降生まれの方	大学を卒業した方で、電気主任技術者(第1種~第3種のいずれか)の資格を有する方
一般技術(電気)	大学	昭和24年4月2日以降生まれの方	電気関係の学部・学科を履修した方で、平成21年3月卒業見込みの方
		昭和61年4月2日以降生まれの方	おのおのの学校を卒業した方で、看護師の資格を有する方
看護師	大学短大	昭和24年4月2日以降生まれの方	

※活字印刷による出題に対応できる方

別表2

申込方法	受付期間・受付場所
持参	12月26日(金)まで(土・日曜日、祝日を除く) 午前8時30分~午後5時 職員課へ持参してください。
郵送	12月26日(金)まで(必着) ※受験票送付に係る80円分の切手を同封し、配達記録で郵送してください。 〔あて先〕〒201-8585 和泉本町1-1-5 狛江市役所職員課採用試験担当

12月26日(金)午前8時30分~午後5時)まで職員課で配布(土・日曜日、祝日を除く)

※市ホームページからもダウンロードできます。

〔申込方法〕別表2のとおり

〔提出書類〕▽受験申込書▽資格等証明書の写し(資格要件がある方のみ)▽最終学歴卒業証明書および成績証明書

〔第一次試験日〕平成21年1月18日(日)

〔問い合わせ〕職員課

## 中小・小規模企業を応援します!

緊急保証制度が始まりました。対象の業種に属し、一定の要件に該当する方を対象にして、担保がある方には一般保証2億円に加えて、別枠2億円までの保証を利用できます。担保がない方でも一般保証8,000万円に加えて、別枠8,000万円までの保証を利用できます。

この保証を受けるためには、市長の認定を受けた上で、金融機関等による金融上の審査が必要でです。

※詳しくは、ホームページ <http://www.chusho.net.go.jp> をご覧ください。

〔認定手続き・問い合わせ〕地域活性化課地域振興係へ。

セーフティネット貸し付け。経営の安定を支援するため、全業種の方を対象に、中小企業の方は4億8,000万円まで、小規模企業の方は4,800万円まで利用できます。

〔申し込み・問い合わせ〕日本政策金融公庫立川支店 ☎042(528)1261へ。



—その179—

初正月 羽子板・破魔弓

生まれた子どもが初めて迎える正月「初正月」には、特別な祝いの意味がありました。初正月は初節句などと同様に、子どもの成長の祝いごとをおこなう節目のひとつでもあります。

初正月の前の、年の暮れになると、親元(嫁の里方)や伯(叔)父・伯(叔)母、きょうだいなどの濃い親戚、そして仲人から、男の子には破魔弓、女の子には羽子板が贈られてきます。親戚筋のイッケの中でも、かかわりの濃い家、そして隣近所の特に関心が高い家などからも贈られることがあります。品物ではなく「羽子板代」「破魔弓代」としていただくことが多かったようです。イッケの人たちの贈答は、何年前かに申しあわせて省略したことも聞きました。

住居も手狭になり、暮らしかたも変わってきた現在、かつてのような初正月の贈答は簡略化されていますが、かたちを変えながら、いまでも続いているならわしです。

「うちでは、三年前の春に生まれた孫の初正月には、親元から羽子板が贈られてきました。飾るところが狭いからって、大きなものを持って頼んでね、藤娘のとってもいい、押絵の羽子板なの。お正月だけじゃなく、お節供にも出して飾りました」

「むかしの羽子板や破魔(破魔弓)は、座敷の長押などにさしかけて、ずらりと飾ったりしたものでね、だんだん豪華で大きくもなつて、ガラスをはめこんだ桐の箱なんかに入ってるでしょ、だから、そのまま床の間などに並べて飾るのね。暮れの大掃除が終わると飾るんです。家にもよるでしょうけど、二十日正月ころまでね。

いまは、遠くの専門店から送ってくるけど、前にはね、こちらでは、調布のお店やお天様の市とか、溝の口の甲州屋などに買いに行ったものでした。

初節句にはお祝いをいただくとお返しをしますけどね、初正月には昔からお返しはしないんですよ。その分、お節句にちゃんとするのね。初正月のお祝いは、長男・長女のときだけってのが普通なんです。ほかの子のときには、親元から、おしるし程度でね」

「うちでは、いまも前からの羽子板や破魔、二十点近くを飾るんですよ。それ用の厚い棚を作って二段に並べるんです。わたしの初めての子は女の子なので、羽子板をもらいましたが、歌舞伎の男役の絵柄もありました。次は男の子が生まれるようになってね。そのおもいが通じたのか、二番目の子は男でしたので、破魔を祝ってもらいました。七草から十五日までくらいの間、お祝いをくださった人をよんで、飾った羽子板、破魔などを見ていただき、祝いの膳を用意したこともあります」

初正月の羽子板や破魔弓などは、邪気を払い子どもの無事な成長を願う縁起物なのでした。

中島 恵子

(狛江市文化財専門委員)